

ついて⑤市費によるアレルギー専門の管理栄養士追加配置について。

**▲教育部長** ①専門医や保護者で構成する学校給食食物アレルギー検討委員会を本年7月に立ち上げ、情報収集や実態把握に努めており、この調査結果を基に、早急にアレルギー対応マニュアルを作成したい②アレルギーを持つ児童・生徒に、より安全な給食を提供するとともに、保護者に対しても試食会を行うなど有効に活用したい③アレルギーのある児童・生徒への給食の提供内容については、対象者の把握や調査結果を踏まえ、まずは除去食から開始したい④平成22年度の栄養職員員の配置については、新学校給食センター2名、第二学校給食センター2名、飯山学校給食センター2名の計6名の予定である⑤市費によるアレルギー専門の管理栄養士の追加配置については、食物アレルギーを持つ児童・生徒数、栄養教諭や調理員の配置状況を勘案した上で検討したい。



新学校給食センター完成予想図

環境問題

市の取り組みは

**■尾崎議員** 廃プラスチックの焼却量の増加が温室効果ガスを増やし、地球環境に対する負荷の増大となっている。容器包装リサイクル法に基づく分別収集を、できる地域から実施していくことが、今の時代に求められていると思うがどうか。

また、地球温暖化問題の深刻化で、個人レベルでも環境意識が高まる中、今年1月、国における住宅用太陽光発電に対する補助制度が復活した。住宅用太陽光発電システム導入事業を、

市独自で再開する考えはないのか伺いたい。

**▲生活環境部長** 合併時、地域別に行われていた収集作業の効率化、収集経費の節減等を解決するため、丸亀市廃棄物減量等推進審議会において資源ごみ分類の統一について諮問した結果、新たな財源負担が生じることを懸念し、焼却してサーマルリサイクルへ統一する方向に至った。循環型社会をつくるという理念は大切にしながら、緊急避難的な措置であると理解しており、今後、国の動向などを注視しながら当面は現状の収集方法で行っていききたい。

また、住宅用太陽光発電に対する国の補助制度が平成21年1月より実施されており、市と



住宅用太陽光発電



消防署と消防団の合同訓練

消防本部と消防団  
良好な連携を

してもホームページ掲載等市民に積極的に周知を行うとともに、その普及に取り組んでいる。一般家庭への設置助成については、国や県、さらには他自治体の動向も見ながら検討していききたい。

**■三木議員** 消防本部も消防団も私たち市民生活には欠かすことのできない重要な部署であり、両者の良好な連携は活動のかなめとなる。そこで、次の点を伺いたい。①丸亀市消防本部の組織に関する規則の中に、消防団員の訓練、指導に関するこ

ととあるが、その具体的内容は②分団によっては、訓練場所の確保が定まらないという現状がある。どのように連携をとっているのか。また、実情の把握とあわせて個別の支援についてどう考えているのか③分団ごとの消防機具やポンプ車などの配置基準は。

**▲消防長** ①分団長会において、消防団の主要行事、訓練計画などを審議し、毎年8人程度の団員に香川県消防学校に入校してもらっている。また、全消防団を対象とし、消防行事における礼式及び防災活動などの訓練指導を行っている②大半の分団では、訓練場所として小学校

の運動場を利用している。訓練場所の確保に苦勞している分団も幾つかあるが、何とか確保しているのが現状である。訓練場所使用などの経費については、分団への運営交付金で支援している③消防組織法において、丸亀市の場合、ポンプ自動車は最低6台必要となっている。消防本部に9台保有し、19台のポンプ車と46台の小型動力ポンプ付積載車を17の分団に分散配備しており、消防ポンプ車、設置機具は十分であると理解している。

## 小中一貫校 今後の取り組みは

④加藤議員 新たに綾歌において小中一貫校を創設するということであるが、次のことを伺いたい。①小中一貫校の特徴は何か②高松での小中一貫校の内容はどうか③小中一貫校は、丸亀教育の一つの柱として今後展開していくのか④学校の統合問題とこの小中一貫校の創設との関係は。また、今後の地域との協議の考え方は⑤小学校の統合、中学校との一貫教育の問題は、地域にとっても大変重要な問題であり、地域住民の

理解が得られなければ、統合、新設をすべきではないと思うがどうか

⑤教育長 ①9年間を見通した意図的、継続的な指導により、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育てることにつながる。考える②高松市は本年4月に二つの中学校と一つの小学校を同一建物内に併設し、9年間を見通した連続性のある教育課程を編成している③今後、全市的に取り組んでいくものであり、丸亀教育の一つの柱となるものと考えている④今回、綾歌地区で先行して取り組むのは、施設一体型を想定しており、複数校を統合して新たな小中一貫教育校を整備する。今後の協議については、PTA、地域の人も十分な協議を重ねたい⑤全く理解が得られないという状況になることも考えられるが、そのような場合でも、理解を得られるよう精一杯の努力をしていく。

## 消防本部庁舎の問題点について

⑥国方議員 平成18年3月議会に議案第50号として、大手町興産㈱が所有する宅地、つま

り現在消防庁舎建築中の土地と本市が所有する翠山荘跡地との土地の交換が提案され、議会で議決されている。これは、丸亀市財産の交換、譲与、無償貸与等に

関する条例第2条ただし書きに違反しているのではないかと、次に、建物の設計について、

㈱久米設計が設計したと聞いているが、他の業者に丸投げで下請けに出したという噂は聞いたことがあるか。また、建設業者の決定には、共同企業体1社の入札参加になったのはなぜか。

⑦消防長 新消防庁舎建設用地は、現在の消防本部と一体的に利用するため、市が所有する大手町三丁目の土地と交換し、

差額を精算したものである。条例第2条ただし書きで、価格の差が高価なものの場合、価格の1を超えるときはこの限りでない」と規定されていることから、市長の判断だけではなく、議会の議決を経たものであり、条例違反ではないと認識している。



建築中の新消防庁舎

次に、建物の設計については、選定委員会においてプロポーザル方式による技術競争の結果、㈱久米設計の提案が最良と評価され、工事発注した。建設業者の決定については、免震構造建築の実績を有する建設業者と市内業者をパートナーとする共同企業体を対象に、制限付き一般競争入札で決定したものであり、問題はないと考えている。

## 市が進める 小中一貫教育とは

⑧中谷議員 丸亀市で進めようとしている小中一貫教育というものは、市全体の教育政策であるにもかかわらず、その全体の構想、目指す方向も示されないままに特定の地域だけで具体化

を急ぐのはおかしい。経緯に不自然さがあり、小中一貫教育に名を借りて、目的は綾歌の小中学校統廃合かと思ってしまう。なぜ、綾歌地域を先行するのか考え方を伺いたい。

また、学校統廃合は、地域住民の意思が尊重されることが大前提である。地域住民が統廃合にノーと言えば、実施しないということ間違いはないか。

⑨教育長 小中一貫教育は、当事者である学校、保護者、地域のみなさんの理解を得て初めて進めることができるものと考えている。構想については、市内全ての学校が対象であるが、まずは、綾歌地区を先行するモデル校とし、その成果を全市に広げていきたいと考えている。統廃合案については、構想を作成する中で、児童・生徒数の推移、通学距離、教育活動の活性化、学校施設の耐震化等さまざまな観点から、学校施設の適正配置について、関係者と協議、検討を重ねていきたいと考えている。

また、綾歌の地域の人や保護者には、ぜひ、この小中一貫の目指すところを理解してもらおうということ、今、考えているだけである。

## 委員会審査

### 一般会計補正予算など

### 各委員会では原案承認

9月3日の本会議で各常任委員会にそれぞれ付託された議案の審査は、10日に都市経済、教育民生、11日に生活環境、総務と順次開かれ、市長や副市長をはじめ関係部課長が出席して、細部にわたる審査を行いました。主な質疑、要望は次の通りです。

## 都市経済委員会

### 主な質疑

○救助工作車Ⅲ型購入に係る補助額。

**委員会も  
傍聴できます**

詳しくは  
議会事務局まで  
(☎24-8828)



救助工作車Ⅲ型

- 市地区計画区域内の容積率及び建ぺい率の内容。
- 市建築審議会の委員数及び開催状況。
- 緊急雇用創出事業の活用方法。

## 教育民生委員会

### 主な質疑



幼稚園に設置のAED

- 学校、幼稚園、社会教育施設でのAED設置及び管理の状況。
- 学校給食センター調理等の業務を民間委託した場合の現調理員配置に対する考え。
- 学校給食センター調理等業務委託料の積算根拠。
- 学校給食センター調理等業務委託による財政効果をアレルギ対応食等の施策に充てる考え。
- 住宅手当緊急特別措置事業の実施期間及び市民周知の方法。
- 女性特有のがん検診推進事業が継続事業となるよう国や県に要望する考え。

### 主な要望

○学校給食業務の民間委託に当たっては、民間活力検討委員会が出した報告書の留意事項を尊重していただきたい。

## 生活環境委員会

### 主な質疑

○配水管改良工事に対する国庫補助等の対象範囲。

○水道事業会計の資本的収入不



市営墓地（青ノ山墓地公園）

足分を補てんする財源の内容。

○老朽配水管の更新状況。

○ごみ・し尿収集運搬業務委託料の前回額との比較。

○ごみ収集を民間委託した場合の収集マナーなどに対する考え。

○出産育児一時金4万円引き上げを平成23年度以降も継続するよう国に対し求めていく考え。

### 主な要望

○市営墓地使用料等還付の根拠となるものを具体的に決めておいていただきたい。

## 総務委員会

### 主な質疑

○地域活性化・公共投資臨時交付金の計算方法。

○地域活性化・経済危機対策臨時交付金の残金の取り扱い。

### 主な要望

○一括交付される交付金は、十分審査して予算措置していただきたい。

# 決算 一般・各特別会計 企業会計

決算特別委員会を設置し、閉会中の継続審査に

審査結果は、12月定例会  
で委員長が報告します。

なお、各決算委員会の委員  
には次の議員を選びました。

(◎委員長 ○副委員長)

## 一般会計及び各特別会計 決算特別委員会

◎小野 健一 ○多田 光廣  
吉本 一幸 福部 正人  
加藤 正員 小橋 清信

## 企業会計 決算特別委員会

◎浜西 和夫 ○尾崎淳一郎  
松永 恭二 三宅 真弓  
藤田 伸二 長友 安広  
高橋 等 小松 利弘  
倉本 清一

山本 直久 横田 隼人  
中谷真裕美 国方 功夫  
三木 まり

## お知らせ

・高田重明議員が7月に亡くな  
られました。ご冥福をお祈りい  
たします。

・高橋等議員が10月1日付け  
で辞職されました。

## 議会中継

本会議は、中讃ケーブルビジ  
ョン(CVC)で生放送してい

## ご案内

次回の定例会は  
12月上旬に開会  
予定です。

ます。また、同じ日の午後6時  
から再放送していますので、ぜ  
ひご覧ください。

## 平成21年9月定例会 審議した議案とその結果

認定第1号	平成20年度丸亀市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定について	(特別委付託)
認定第2号	平成20年度丸亀市水道事業会計決算認定について	(特別委付託)
認定第3号	平成20年度丸亀市競艇事業会計決算認定について	(特別委付託)
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	(同意)
議案第65号	専決処分の承認について(平成21年度丸亀市一般会計補正予算(第2号))	(承認)
議案第66号	平成21年度丸亀市一般会計補正予算(第3号)	(原案可決)
議案第67号	平成21年度丸亀市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	(原案可決)
議案第68号	平成21年度丸亀市介護保険特別会計補正予算(第1号)	(原案可決)
議案第69号	平成21年度丸亀市水道事業会計補正予算(第1号)	(原案可決)
議案第70号	丸亀市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定について	(原案可決)
議案第71号	丸亀市国民健康保険条例の一部改正について	(原案可決)
議案第72号	丸亀市史跡等管理条例の一部改正について	(原案可決)
議案第73号	工事請負契約の締結について(西中学校屋内運動場)	(原案可決)
議案第74号	物品の購入について(救助工作車Ⅲ型)	(原案可決)
議案第75号	物品の購入について(丸亀市新学校給食センター給食配送車)	(原案可決)
議案第76号	物品の購入について(丸亀市新学校給食センター用食器カゴ・食缶)	(原案可決)
議案第77号	市道路線の認定について(土器町東一丁目団地線ほか1路線)	(原案可決)
意見書案第2号	私学助成の拡充発展に関する意見書	(原案可決)